



みやき町

こんにちは

議会

です。



『市村清記念メディカルコミュニティセンター』オープン!!
みやき町の健康・福祉の拠点が開館しました (令和3年6月26日)

Contents ・ 主な内容 ・

臨時会・6月定例会	2
一般質問要旨・計報	6
一般質問・11名が町政を問う	7
編集後記ほか	18

各庁舎、こすもす館ロビーに設置のテレビで議会中継を視聴できます。
また、スマートフォンやタブレット端末でもインターネット議会中継を視聴できます。

みやき町議会中継

検索



令和3年 第2回臨時会 会期5月14日

議案および採決結果（件名は一部省略しています）

件名と主な内容（件名は一部省略しています）		
専決処分の承認	みやき町税条例等の一部を改正する条例 【内容】「令和3年度税制改正の大綱」によるもので、町民税、固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税などの改正	全員賛成
	令和2年度 一般会計補正予算（第10号） 【内容】770万円を追加し、総額195億8,056万7千円に地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）寄附金の増に伴い基金に積むため	賛成10 反対4
変更契約	物品売買契約の変更契約の締結 【内容】変更後契約金額：2,309万4,833円（含消費税） 参画事業者で用意する備品および建築工事において施行される備品が含まれていることが判明したため、587万4,470円の減額	全員賛成
補正予算	令和3年度 一般会計補正予算（第1号） 【内容】3億9,324万7千円を追加し、136億343万6千円に月影幼稚園の認定子ども園開設への移行に係る施設整備事業および石貝地区新設保育所等施設整備事業に要する経費	全員賛成
	令和3年度 ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第1号） 【内容】4,702万7千円を追加し、62億865万9千円に一般会計で行う石貝地区の保育所等施設整備事業の土地購入費、月影幼稚園整備補助金等の財源としての一般会計への繰出金の増額	全員賛成

令和3年 第2回定例会（6月） 会期6月8日～6月17日

主な議案および採決結果（件名は一部省略しています）

副町長の選任	賛成7・反対7の同数となり、議長裁決で否決	不同意
--------	-----------------------	-----

条例制定	市村清記念メディカルコミュニティセンター条例の制定	全員賛成
<p>【内容】 公民連携による町民の健康増進に資する取り組みを推進し、町民が生活習慣に対する意識を高めて健康の維持増進を図るとともに、広域的な交流の促進およびにぎわいを創出するため、市村清記念メディカルコミュニティセンターを設置。令和3年6月26日から施行。 （開館時間）午前8時30分～午後10時 （使用時間）午前9時～午後10時</p>		

条例改正	みやき町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部改正	全員賛成
<p>【内容】 精神障害者保健福祉手帳1級所持者を新たに対象者として追加するものであり、通院費用および精神病床以外の入院費用について新たに対象とする。施行期日は、公布の日から施行し、令和3年4月1日より適用。</p>		

教育委員会委員の任命 【同意】	監査委員の任命 【同意】
<p>こが まさみち 氏 古賀 正道 氏 (三根校区：再任)</p> <p>※任期： 令和3年7月1日から4年間</p> 	<p>さいしよ かずし 氏 最所 一志 氏 (北茂安校区：再任)</p> <p>※任期： 令和3年7月1日から4年間</p> 

みやき町選挙管理委員選挙 【当選】			
(中原校区)	はし ぐち しげ ゆき 氏 橋口 重行 氏	(北茂安校区)	てら だ ふみ ひこ 氏 寺田 文彦 氏
			
(北茂安校区)	しま きき てつ ろう 氏 島崎 哲郎 氏	(三根校区)	おお かわ くに みつ 氏 大川 國光 氏
			
<p>【内容】委員数は4人で、任期は4年。委員は、議会の議員による選挙で選ばれ、委員長は委員の中から投票又は指名推選で選ばれる。 ※任期：令和3年6月21日から4年間。</p>			

みやき町選挙管理委員補充員選挙【当選】			
(中原校区)	いと やま ひで ゆき 氏 (1) 糸山 英幸 氏 (1)	(北茂安校区)	ゆく たけ かおる 氏 (2) 行武 薫 氏 (2)
(三根校区)	きた じま とし かず 氏 (3) 北島 俊和 氏 (3)	(北茂安校区)	せん どう りゅう いち 氏 (4) 専頭 隆一 氏 (4)
<p>【内容】委員と同数の補充員を選挙。委員に欠員があるときは、選挙管理委員会の委員長は、補充員の中から補欠する。補充員の任期は委員の任期。※ () 内の番号は補充の順序。</p>			

義務教育費国庫負担制度拡充および教職員定数の改善に係る意見書 【賛成13 反対1】
<p>【内容】国会等へ提出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少人数学級を中学校まで拡充するなど、さらなる教職員の定数改善を行うこと 2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に引き上げること

令和3年度 補正予算【全議案 全員賛成】

会計の名前	補正額	総額
一般会計補正予算(第2号)	5億1,427万2千円	141億1,770万8千円
下水道事業特別会計補正予算(第1号) 【内容】4月の人事異動に伴う人件費の調整分	597万3千円	14億1,302万1千円
ふるさと寄附金基金特別会計補正予算(第2号) 【内容】一般会計で実施する充当事業の財源として一般会計への繰出金	1億9,312万6千円	64億178万5千円

〈主な一般会計補正歳出予算〉

項目	補正額	説明
市村記念蓮公園(仮称)整備工事	1,678万6千円	複数年計画で整備している市村記念蓮公園(仮称)整備事業として遊歩道整備工事 
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 【※P5参照】	2億9,173万1千円	これまでの感染症対応により影響を受けていることに対する支援策および感染拡大を防止するための対策を講じていくための経費、30事業を実施
子ども・子育て利用者支援(基本型)事業委託料	750万5千円	子育てに係る専門性の高い相談事業や地域との連携を行うための新規事業をメディカルコミュニティセンター内にて委託
石貝地区新設保育所等施設整備事業	7,796万1千円	造成工事費
コールセンター開設運営委託料	2,494万5千円	7月～9月分の委託料および増員分
個別予防接種医師委託料	2,732万4千円	医療機関における64歳以下のコロナワクチン接種医師委託料
集団接種会場運営委託料	644万8千円	集団接種会場における64歳以下のコロナワクチン接種運営委託料
偉人マンガ制作委託料	519万2千円	B & G財団偉人マンガ制作活用事業助成金300万円を活用して、バルセロナ五輪柔道競技金メダリストの故古賀稔彦氏の偉人マンガを制作するための経費 
多目的広場整備委託料	440万円	中原公園多目的広場の雨風により劣化したグラウンド面を整備するための委託料
三根体育館LED化工事	757万9千円	経年劣化した三根体育館照明のLED化

〈主な新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業〉

支援事業名	支援の内容	金額
みやき町応援クーポン券事業	町民1人あたり3,000円(500円×6枚)のクーポン券を配布	9,055万円
みやき町飲食店テイクアウトクーポン券事業	町民1人あたり500円(500円×1枚)のテイクアウト専用クーポン券を配布	1,343万8千円
みやき町新型コロナ対策経営支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が20%以上減少し、佐賀県が行う「第2次佐賀型中小事業者応援金」の交付を受けた町内事業者に対し、一律5万円の支援金を支給	3,775万3千円
学校給食費上乘せ補助事業	第1子、第2子に対して行う給食費の半額上乘せ補助 	4,184万8千円
在宅介護慰労金給付事業	要介護3から要介護5の方を在宅で介護されている世帯に慰労金5万円を支給	1,204万8千円
子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業	季節性インフルエンザと新型コロナ感染症の同時感染による重症化および感染防止対策として子どものインフルエンザ予防接種費用を現在の1,500円に500円を上乘せし助成 	560万円
みやき町農業者持続化支援給付金事業 	【畜産・花き・青果】 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が20%以上減少している農業者等に対し、一律10万円の支援金を支給 【米】 令和3年の営農計画書提出者に主食用米の作付の実績面積に対し種子購入費相当分の補助として1,000円/10a(1a未満切捨て)の支援金を支給	2,040万円
小・中学校修学旅行キャンセル料助成事業	計画している修学旅行のキャンセル料を補助 	860万5千円
GIGAスクール構想における学習用端末整備事業	GIGAスクール構想における一人一台端末として、児童生徒の増加分等を購入 	925万5千円
図書館パワーアップ事業 	在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしてもらい外出抑制につなげるため、町内図書館の蔵書の購入および購入した蔵書の収納棚を購入	600万円

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。令和3年第2回定例会の一般質問は11人が行いました。各議員のページには、『QRコード』と『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。

(掲載は登壇順)

番号	議員	質問要旨	頁
1	10番 園田 邦広	1. 岡町長の町政を問う 2. メディカルコミュニティセンターの一部をコロナワクチン集団接種会場に	7
2	9番 古賀 通	1. 新町長の財政再建と選挙公約をどう実行されるか 2. 学校教育の新たなる課題に創造的対応を	8
3	8番 牟田 秀文	1. 副町長を解職した理由について 2. 認定こども園の整備について 3. 福祉避難所について	9
4	15番 益田 清	1. 町政へのぞむ姿勢について 2. 「MAGOボタン」について 3. 高齢者の移動手段の確保	10
5	3番 大曲 隆則	1. 寒水川東部地域における水防対策について 2. 通瀬川排水機および水門の早期排水開門について 3. 町内の水防対策について	11
6	2番 目野さとみ	1. L G B T (性的少数派) に配慮する取り組みについて 2. 生理の貧困について	12
7	5番 本村 鶴夫	1. みやき町の女性参画について 2. 町長と語る会について 3. 町の入札のガラス張りについて 4. 身体障がい者に電動カートの貸し出しについて	13
8	13番 平野 達矢	1. 所信表明の内容について伺う 2. 施政方針について	14
9	7番 大石 安弘	1. 町の健全財政について 2. 通級制度利用者への支援 3. ふるさと納税について	15
10	6番 中尾 純子	1. 小児科病院について 2. ドアtoドア乗り合いタクシーなどの弱者対策について 3. 核兵器禁止条約の町長としての考え	16
11	14番 岡 広明	1. 健康で介護不要な高齢者に仮称「いきいき祝金」を、について 2. J R 中原駅のバリアフリー化と駅西踏切周辺の道路網整備について	17

計報

去る令和3年4月28日に田上幸男議員がお亡くなりになりました。

田上議員は平成30年2月執行の町議会議員選挙に初当選され、総務文書常任委員会委員、産業建設常任委員会副委員長として町政の発展に寄与されました。

さらに議会広報編集委員会委員として、町民の皆さんにわかりやすい紙面づくりに取り組まれました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。





園田 邦広 議員



問

岡町長の町政を問う

住民目線を大事に公正公平な町政運営を 大前提に考えていく

野について盛り込む。

問 みやき町の財政が危機に陥っていると言っているが何を根拠に言っているのか。

答 ふるさと寄附金基金から一般会計に充当している部分が大い。令和2年度期首で寄附金残高は61億1769万4千円となっており、寄附金がなかったと仮定した場合数年で枯渇する。

問 財政状況が現在のどのような数値になっているのか示し説明をしたことがある

のか。左図は令和元年度の決算である。どの数値も全く問題ない。健全な財政運営がなされている。

項目	早期健全化基準	みやき町
実質赤字比率	13.97%	数値なし
連結実質赤字比率	18.97%	数値なし
実質公債費率	25%	10.9%
将来負担比率	350%	数値なし

答 寄附金を財源とした経常経費への充当を不安視している。歳出を極力抑え財源構成を少しでも臨時的経費へシフトしていくことが不安

材料を取除くことと考えている。

要望 ふるさと寄附金は、どこの自治体でも願ってもない制度である。みやき町は令和3年度当初予算で30億円の寄附を見込んでいる。町長・職員一丸となり全力で目標を達成していただきたい。

コロナワクチン集団接種会場の増設

問 メディカルコミュニケーションセンターが6月26日にオープン。このセンターの

一部を活用しワクチン接種を加速させるべきだ。

答 メディカルコミュニケーションセンターでの集団接種は考えている。65歳以上の高齢者の接種は、国の指示の下、7月中旬に終了できるよう順調に進捗している。現在まで接種者は3997人、接種率43.75%。64歳以下の接種については、日中医療機関に行くことが困難な方が多いと想定されるので、集団接種で土・日の会場を確保し、夜間接種の機会の環境整備等比重を置くことを検討している。集団接種で5000人程度を予定している。実施期間は7月から10月まで、全体で30回程度実施する。

問 岡町長は、4月の町長選挙に立候補した際、前町長が取り組んできた町政を正面から否定されている。今後のまちづくりをどのように考えているのか。

答 前町長時代からの継続事業のうち、良いものは良い、方向修正が必要なものは行政内、また議会と議論していく。

問 本年はみやき町の最上位計画である第2次総合計画が後半の5年間の見直し時期となっている。町長は昨今の自治体

は首長が変わった場合は短期的(4年・8年)で策定されていると言っている。一方で長期的な視点も踏まえた大きな計画にも触れていくと言っているが、どのような考えで策定に取り組むのか。

答 策定過程においては、住民ワークショップ等行い、多くの町民の声を反映させる。計画の進捗や評価を把握するため数字で議論する。内容については、農商工業・定住促進・福祉の充実・子育て・災害対策等それぞれの分



古賀 通議員



問

岡町長は選挙公約の何をいつまでにされるか

答

町民の声でみやき町総合計画を見直し推進する

用、名札の有効性など保護者の価値観も変わっているがどう対応されているか。またヤングケアラーについては。

のバランスを考慮し、合併特例債を最大限活用してきた例もある。今後、予算編成でしっかりと見据える。

万円を充当すると約3.7倍となる。指標を捉える参考になるがどう分析するか。

いる。税率の改定は早急に検討すべき課題であると考ええる。子育て 切れ目のないトータル支援窓口が必要。

教育 プログラミング教育や英語教育の推進など検討を要する。

教育の新たな課題

問 初々しい児童生徒の感受性は無限である。教え育むための教師や環境、家庭を総合して向上させるため教育現場は大変重要。校則のあり方、服装、スマホ活

答 新型コロナやSNS、ICT学習など予測できない未来に対応するには他者との共同を要する。未来の社会に向けた準備の場であるためそれぞれの連携を密に推進する。

ツプを行う。また、計画の進捗や評価をしやすいするため、しっかりと数字で議論できる統計資料など分析するような部署を創設し、住民サービスに繋がっているか、いないか改善できる環境づくりも必要。

財政 ふるさと寄附金の財源構成をしっかりと見極め不安材料を払拭するような運営をする。

国保特別会計 高齢

化社会の急速な進行などに伴う医療費の増大で、ここ数年は一般会計からの繰入れを余儀なくされて

問 財政力を示す

財政力指数、経常収支比率、将来負担比率など一般的な指標があるがトータルとして総借入金残高÷財政調整基金および減債基金積立額を試算すると令和2年度4.2倍、3年度末返済金16億9800

答 地方債現在高を財政調整基金および減債基金残高で除した比率が小さいほうが良いのではないかとのご指摘である。

現在の中期財政推計でこの比率をみると、令和3年度で5倍、令和6年度で4.2倍、令和8年度で3.5倍と、地方債現在高が減少していくに伴いこの比率も減少していく計画である。



答 新型コロナやSNS、ICT学習など予測できない未来に対応するには他者との共同を要する。未来の社会に向けた準備の場であるためそれぞれの連携を密に推進する。

ヤングケアラーとは、家庭の介護や世話をすることで自らの育ちや学習に影響を受けている18歳未満の子のこと。国の調査では中学生5.7%、高校生4.1%の結果が報告されているため、早期に困りごとを発見し、良き理解者となるよう取り組む。

答 町の最上位である総合計画に住民からの意見を反映するため住民ワークショップ

問 激戦を見事勝利され16年ぶりに首長交代となった。これからトップリーダーとして全身全霊で持つている知見と能力を奉仕しなければならぬ。健康で豊かなまちづくりが実現できるよう期待している。選挙公約は町民との誓約書である。今回は財政再建をスローガンに掲げられたがどのように推進されるのかお尋ねする。



牟田 秀文 議員



問

副町長を解職した理由は

信頼関係を構築することができなかつた

答

のは筋が通らないと話したと報道されている。政治姿勢に違いとは具体的にどのような違いがあったのかをお伺いする。

つたがゆえに町民、議員、職員の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしたことについて深く反省し、今後の行政運営にまい進していく所存だ。

福祉避難所について

る道路を確保できるよつ努めていきたい。

問 災害時に高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児、病弱者など特別な配慮が必要な人など避難先を決め個別避難計画を作成し、平時から受け入れ先と顔の見える関係を築くことが重要と思うが。

問 新聞報道によると町長は5月17日に副町長を解職した理由について、町長就任後、副町長の続投を含めて検討したが政治姿勢に違いがあると判断。複数回辞職願の提出を促したが、副町長が受け入れず解職に至ったと説明。副町長は町長の初登庁の日に口頭で進退伺いをしたが、引き続きお願いしますと言われ、辞職願を拒んだ点は、町長から、後援会が納得してないと言われ、そんな理由で辞める

答 公私とも信頼関係、町政における考え方も含んで話し合いをしたと認識していたが、信頼関係を構築することができず、やむを得ず解職の手続きに至った。議会への事前説明の不足などに関して、私の町長としての未経験および行政経験における未熟さがある

問 みやき町では5月にコロナ感染者が29人も出ている。一番大事なときに解職する必要があったのか。



認定こども園予定地

石貝地区の認定こども園について

問 メディカルコミュニティセンター北側に認定こども園を予定され、現況より1.3m程度高め約1万1800㎡の盛土の計画との説明をされたが、集中豪雨時の対策、また、周辺の環

境整備について伺う。

答 整備エリア南側とメディカルコミュニティセンター北側の間に調整池を整備する。最大382㎡の貯水能力を確保し、徐々に西側水路に放流する予定。保育園への出入口は、東側の県道から計画している。安全面を考えると、県道の南側から左折で入り、県道の北側へ左折で出る。県道からの入り口と出口を2カ所別々に考えている。また、西側からも進入でき

答 災害時の要配慮者用一次避難所は、なかばる紀水苑、花のみね、花のみね式番館、光風会ばれつとの4施設を福祉避難所として協定を締結し確保、町内の福祉施設等にも今後協定の締結をお願いしたいと考えている。



益田 清 議員



問

MAGGOボタン発火、契約解除すべき

答

業者が原因調査中で検討課題だ

問 MAGGO(マゴ)ボタン活用事業は全国で初めての試み、ふるさと寄附金を使い取り組まれている。

今回、ひっくり返したままの状態です。バッテリーが過熱し、カーペット、ゴザを焼き焦がしている。町内には300を超えてる機器が行き渡っているが、事前に安全検査の確認は行われたのか、どう指導したのか。

答 コンセントを外すよう対応を徹底。安全審査の許可の必要はなく、製品は耐熱・



衝撃性に優れている。電池内部でのショート焼損で加熱した可能性が高いと中間報告を受けている。

問 料金設定が高すぎる。利用料1時間1300円、通信料

月3000円。毎日1時間依頼した場合、月4万円。みやまち株が対応するが年金だけの方は到底利用できない。福祉の理念に逸脱している。また、投げたりなどされた場合、安全を

担保できるか。

答 現在は、試験的運用である。今後、安全性も含めた費用対効果等をしっかり精査していく必要がある。

ご依頼いただけるサポート内容

重たい物の運搬

倉庫や納屋の整理
二階からの荷降ろし
季節家電の出し入れ
箱大ゴミ運搬お手伝いなど

お庭のお手入れ

草抜き・花木の剪定
除草剤散布・落ち葉掃
ベランダや溝の掃除など

お買物代行

日常のお買い物や
精米の代行など

家の中のお困りごと

電球交換・お部屋の片付け・台所やトイレの掃除・雨どいの掃除・簡単な修理・スマホやPCの使い方など

お困りごとのご相談は、ボタンを2回押してください!

ボタンを2回押すと...

お困りごとの相談ができます!
何かお困りごとがある時は、ボタンを2回押してください。

(ボタンが2回押されると、MAGGOの担当員からお電話がかかります。)

お困りごと
掃除

MAGGOボタン
お庭のお手入れ

折り紙の
お困りごと
お祝い

スタッフが
ご自宅にお
伺います

お困りごと
掃除

スタッフが
代わりの
お支払い

ふるさと寄附金活用各地区累計2300万円(上限)を交付

問 ふるさと寄附金活用事業として平成30年から令和3年度まで各地区へ累計2300万円(上限)の交付金が交付されている。地区の要望に基づく予算措置で、世帯数に関係なく限度額として町長の決裁で執行されたものと判断される。「工事箇所・内容、備品購入費などの領収書等を見ることができないか」との声があるが、

年度	(予算) 上限 各地区交付額	57地区交付額	使途内容 ※地区で直接発注
平成30年度	800万円	(実績) 約3億9800万円	大木除去、道路水路整備
令和元年度	1000万円	(実績) 約5億5000万円	大木除去、道路水路整備、公民館修理等
令和2年度	200万円	(実績) 約1億900万円	同上
令和3年度	300万円	(予算) 約1億7100万円	同上
計	2300万円	約12億2800万円	

答 情報公開請求があった場合は、条例に基づき非公開情報を除いて公開する。



浸水の様子

問 昨年は大雨や台風、一昨年は線状降水帯の発生で風水害が多発し、町内でも早期避難を強いられました。昨今の寒水川東部地域（大字江口地区）では、①住民避難、住居地浸水、道路冠水
②河川氾濫、護岸崩落、水路氾濫、耕作地冠水
③下水道汚水流出の被害が出ているが、町の水防対策を問う。



大曲 隆則 議員



問

寒水川東部地域水防対策委員会を設置し、国県の関係機関への陳情は可能か

答

さまざまなメンバーを入れた協議会を設置し、陳情につなげていくことは十分可能

答 ①5月20日に避難勧告が廃止。避難指示で必ず避難と改正され、避難勧告発令のタイミングで避難指示を発令し、避難遅れの被災を防ぎたい。自主防災活動で公民館等に避難所を開設時に、マスク、消毒液、水、食料等の物資を可能な範囲で事前提供。ポート等の避難用具を消防本部格納庫と分格格納庫に配備。

②第1段階で、河川事務所等関係各機関および町で組織する検討会を設置し、現状と課題を抽出し、当面の対策と長期的な対策を整理。第2段階で協議会を設置、その意見を反映し、対策の実現に向けた計画の策定等を図りたい。

③想定以上の豪雨となると、地盤が低い地域で冠水が発生し雨水がマンホールや宅地内の排水設備から下水道本管へ流れ込み、下流域の終末処理場等の処理が間に合わず、本管内が満水となり、汚水が逆流、流出するなど現象が発生した。昨年度末は5系列の増設工事了。今年度は、6系列目の増設工事に備えて詳細設計業務を発注する予定。来年度には水処理施設6系列目の増設工事を実施し、処理能力強化を図る。

問 居住地域や耕作地への冠水、河川、幹線水路の氾濫等を防ぐ為、国や県の指示を待たず町の判断で通瀬川排水機場および水門の開門はできないのか。

答 この施設は東部土木事務所より町が管理委託を受け、施設所在地へ管理操作を委託している。施設の操作は、排水機場操作規則に基づき、洪水時の操作は筑後川や通瀬川の水位、通瀬川水門の外水と内水の水位状況に応じた排水機および水門の操作を行うことと規定されており、町の判断で通瀬川排水機場および通瀬川水門の規則から外れた操作はできない。

問 町内の水防対策、今後の取り組みについて。

答 昨年、第1回の通瀬川を含む寒水川地域の総合的な治水対策検討会を実施。第1段階で筑後川河川事務所等関係機関



浸水の様子

および町で組織する検討会として、現状と課題等の抽出を行い、中長期的な対策案を整理し、今年度中に一定の成果、方向性を目指している。第2段階で、さまざまなメンバーを入れた協議会を設置し、陳情につなげていくことは十分可能。



目野さとみ 議員



問

女性の生理の貧困対策は

答

検討していく必要がある

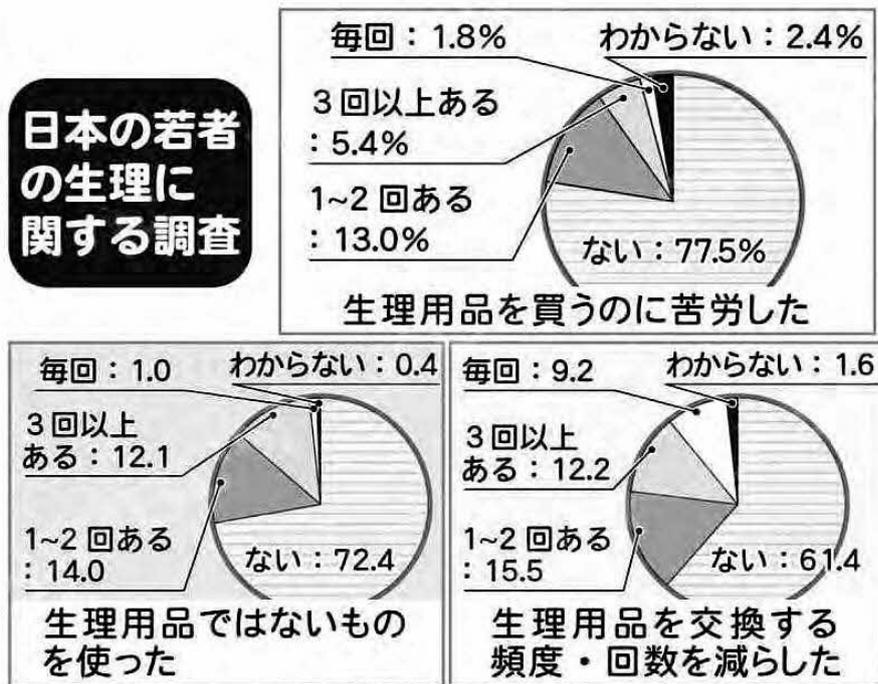
問 生理の貧困とは、生理用品を買うお金がない、利用しにくい環境にあることを指し世界各国でも問題になってい

なく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もある。一日も早くこのような女性の負担軽減に取り組んでいきたいと考えるが、町の考えをお尋ねする。

答 全国で255の自治体で取り組みをされており、主な取り組み内容としては、ナプキンの無償配布を公共施設、各学校のトイレや保健室で実施されている例もあり、本町とし

ても今後、関係各課と十分検討していく必要があるものと考えている。

答 生理の貧困にある女性や女の子の背景や事情と丁寧に向き合いながら、きめ細かな寄り添った支援をしていただけるNPO等の民間団体



「#みんなの生理」調査結果から(小数点以下2桁を四捨五入)

LGBTに配慮したトイレを

問 学校の男子トイレにLGBTに配慮した個室トイレを設置する考えはないか。

答 次の改修のタイミングでユニバーサルデザインを取り入れたトイレを増やしていくこと等を検討し、全ての子どもたちに寄り添った対応をしていきたい。

および関係各課とも十分協議の上、検討していく。また、生理の貧困の理由が家庭の生活困窮である場合は、生活保護制度があり保健福祉事務所につなぐことになる。



本村 鶴夫 議員



問

女性管理職登用をどのように進めるのか

答

職員の適性を総合的に判断し適切な人事管理を行う

問 区長に女性がい
ないのは不思議だ。
女性区長が増えれ
ば、女性管理職も増
やすべきだと思っ
た。女性が活躍するみ
やき町そのものであ
る。男女共に充実し
たまちづくりがいい
影響を及ぼすのでは
ないか。

答 令和3年4月1
日現在の職員の状況
は下表のとおり。
女性区長や女性管理
職登用など、「みや
き町男女共同参画計
画」の基本目標とも
合致しており、男女
共同参画が町民の身

	総数	うち 女性職員
職員	239名	101名
管理職(部課長級)	35名	1名
主幹(副課長級)	44名	16名
専門主査(係長級)	15名	14名

問 女性管理職登用
に関してこれまでの
取り組みと今後どの
ように進めるのか。

近な課題として、あ
らゆる場面において
積極的に意識啓発が
できる機会になるも
のと考える。

答 新採時から管理
職になるまで年齢、
経験、役職に応じた
研修の機会を設け、
また、女性に特化し
た研修への参加など
管理職への意識向上
の機運を高めている。
現在の仕事に対する
熱意や成果、職務遂
行能力など勤務状況
や実績等を総合的に
勘案し、職員の能力
を發揮できる部署な
ど本人の意向を聞き
取りながら職場環境
や多様な研修機会、
職務機会を進める。
職員の適性を総合的
に判断し適切な人事
管理を行っていく。

町長と語る会の実施を

問 公民館を利用し
町長と語る会を実施
してほしい。コロナ
禍で実施ができなく
ても事前にアンケー
ト調査をすることに
より地区の要望等が
分かると思うが。

答 対面での話し合い、
まちづくりに関する
思いなど住民のなさ
んと意見を交わして
いくことは非常に大
事だと考えている。
住民の意見を聞き、一
緒になって考えてい
くところ、はぜひ
検討していきたい。

身体障がい者に電動 カートの貸出しを

問 電動カートの貸
出しは買物やちょ
っとした用事など、
外出が難しい方々の
社会参加が促進され
ると思う。また、免
許証返納も促進され
る事故防止にもつな
がるのではないかと考
える。町の支援策を
伺う。

答 障害者総合支援
法の規定の中に補装
具費の支援制度があ
るが電動カートは対
象種目ではない。電
動カートは民間企業

や介護保険制度によ
る福祉用具としての
貸出しが可能で、利
用料金は、介護保険
制度の適用が可能で
あれば1割から2割
負担となっている。
現在、町の支援策は、
社会参加の促進を理
由として、一定の障
害を持った方を対象
とした福祉タクシー
券(初乗り料金を分
補助)の給付。免許
を自主返納された70
歳以上の方に対し、
運転経歴証明書の交
付申請をされる場合
の手数料1100円
を全額助成(後口、
町への申請が必要)。
また、申請年度より
3力年度「ミニステ
イバスの運賃を無料
としている。

他に、「町の入
札のガラス張り」
について質問



平野 達矢 議員



問

所信表明並びに施政方針について問う

答

住民目線で数字を根拠に町政運営をしていく

問 人口減少時代に突入し自治体間競争に勝つていかなければならない。定住促進、企業誘致、子育て、福祉等々、政策実行するために職員人材の資源配分は大仕事である。住民目線の行政を行うために機構改革をどのように考えるか。

答 ふるさと寄附金は将来継続が担保されていない。この経常的経費への充当は不安視している。歳出予算を極力抑え、財源構成を少しでも臨時的経費へシフトしていきたい。住民サービスの低下は望むところではないのでバランスを考えながら事業への充当判断をし、歳出予算の見直し、歳出圧縮をし、一般財源に後に余裕ができた場合、後年度財政に備えた検討をしたい。

問 ふるさと寄附金は国が定めた政策であり十分に活用すべきであるとの基本的な考え方のなかで、今年度も、ふるさと寄附金基金から一般会計へ繰入れをし、経常財源に多額の予算措置がなされている。ふるさと寄附金は臨時財源であり、一般会計の経常財源として計上すべきではないと考えるが。

張る人材が育つ。地域は地域住民が引っ張り、まちづくりは人づくりだと思っている。事務事業においては目標値を設定したい。さまざまな統計データを活用し、業務の効果を図る。数字を検証し政策立案、事業評価を行う部署を創設する。町民に事業評価を公表し、町民に計画した事業の理解を深めていただく努力をした。いわゆる「見える化行政」を行っていく。

たが次の点について伺う。
後期の総合計画を策定するに当たり住民目線での策定とは具体的にどのような手法でなされるのか。

答 現在の職員数は239名で、行政のスリム化は必要と考える。事務事業の増加に対応するため、適材適所の人材配置をしながら住民サービス、職員のワークバランスにも配慮していく。また、仕事への意欲向上を目指し女性管理職の登用も積極的に考えていく。

答 ワークショップという手法により多くの町民の参加を得てさまざまな意見を出し合い、合意形成をし、答えを出す。未来計画に参加した意識が町政への関心、人材育成につながり、商業、農業等あらゆる分野を引っ

この町民の参加を得てさまざまな意見を出し合い、合意形成をし、答えを出す。未来計画に参加した意識が町政への関心、人材育成につながり、商業、農業等あらゆる分野を引っ

問 前町長は三町合併後、合併特例債、旧三町通常算定交付税、ふるさと寄附金の大幅増予算で、旧三町の平準化と発展的町政運営を図ってきた。合併特例債がなくなり、交付税の一本算定、ふるさと寄附金制度の将来、施設等ハード部門の維持管理費の増高等、歳出財源への歳入不足への不安など長期財政運営を掲げ町長に就任された。これからの町政運営について所信表明、施政方針で述べられ



は国が定めた政策であり十分に活用すべきであるとの基本的な考え方のなかで、今年度も、ふるさと寄附金基金から一般会計へ繰入れをし、経常財源に多額の予算措置がなされている。ふるさと寄附金は臨時財源であり、一般会計の経常財源として計上すべきではないと考えるが。

は国が定めた政策であり十分に活用すべきであるとの基本的な考え方のなかで、今年度も、ふるさと寄附金基金から一般会計へ繰入れをし、経常財源に多額の予算措置がなされている。ふるさと寄附金は臨時財源であり、一般会計の経常財源として計上すべきではないと考えるが。



大石 安弘 議員



問

町財政が厳しいと聞くが、実態と健全財政について

答

町財政の現状は健全であり問題はない

だ結果約1200者、約1400点の品目となっている。寄附項目や返礼品については、関係課および事業者と協議・確認し、適宜、整理見直しを行う。

問 地場産品育成のため誘致した事業への特別な税投資等は行われていないか。

答 一事業への特別な資金助成は無い。



問 3月議会では、町の財政は比較的健全な状況にあるとの回答を得て安堵していた。ところが4月の町長選挙では町の財政が危ないとする声もあり、町の将来に不安を持たれた住民も多かったと思われるが、県内の他市町と比較して現状はどうか。ふるさと寄附金は町財政にどれほど寄与しているか。

答 本町の財政指標、経常収支比率、公債費比率は県内では20市町の中で、おおむね10番前後で健全といえる。また、ふる

さと寄附金は、令和3年度当初予算中約11億5千万円程度充当し、子どもの医療費助成、予防接種事業、道路橋梁新設、メディカルコミュニケーションセンターに関する公債費等として活用し、当初予算中約9%を占めている。

問 町の財政は健全であり、ふるさと寄附金も住民サービスに大きく寄与していることは分かった。ところで、町長はふるさと寄附金に頼らない財政の確保策をお持ちであればお知らせいただきたい。

答 ふるさと寄附金という制度は、将来にわたり継続していくか担保されていない。これを財源とした経常経費への充当を不安視している。今後は歳出予算をしっかりと把握、見直し、コストパフォーマンスを上げながら歳出の圧縮に努める。

通級制度利用者支援

問 近年、特別支援学校や小中学校の特別支援学級の生徒児童数が増加していると聞く。通常学級に在籍しながら個別指導を受ける通級指導

教室が北茂安小にあるが、他校からの利用者については、週一回保護者が仕事を休み送迎しているのが現状である。行政サービスの提供として保護者の負担軽減を図ってもらいたい。

問 近年、特別支援学校や小中学校の特別支援学級の生徒児童数が増加していると聞く。通常学級に在籍しながら個別指導を受ける通級指導

答 北茂安小に通級指導教室が2クラスあり、27名が学んでいる。中原小、三根東小、三根西小から5名の児童が保護者により送迎。県内では保護者が送迎をしないで担当教員が学校を回る巡回指導がある。今後、通級による児童生徒が増え

問 ふるさと寄附金も現在ピーク時の20%の受入額となっており返礼品や28項目の寄附金の使い道について見直しが必要ではないか。

答 ふるさと寄附金の返礼品は、民間企業が持つノウハウを活用し、公民連携にも積極的に取り組ん

ふるさと寄附金の見直しを



中尾 純子 議員



問

小児科病院は誘致できるのか

答

開業に向けた相談があった場合は協力していく

問 小児科専門で夜間でも診てもらえる病院があればと考えるが。みやき町には4力所の医院で小児診療を行っている。夜間の場合は、他の町に行かなければならない。誘致する場合、小児科専門で夜間でも診療してくれる病院を希望したい。

答 乳幼児健診にご協力いただいている。夜間の小児科は、聖マリア病院内で、小児医療支援事業を実施している。

問 医療機関を開業するための手続きは。 答 医師会との調整

問 コミュニティバスよりもっと自由に動ける乗り物が必要だ。 答 現在のコミュニティバスは、町内隅々までの運行は困難である。それを補う交通

問 買い物弱者について デマンドタクシーと 答 国や県への申請、保健所への届出申請、厚生局への申請、税務署への届出申請など、多くの手続きが必要となる。

問 買い物弱者への配慮として、地区の公民館あたりに週1回移動販売車が来ればと考えるが。 答 買い物弱者への配慮として、地区の公民館あたりに週1回移動販売車が来ればと考えるが。

問 どのような検討をしていくのか。 答 現在コミュニティバスを利用されている方、免許証返納者支援申請されている方などからアンケート調査を行い、関

核兵器禁止条約を日本が批准しないことについて考えるか

答 町長個人の考えとしては、世界で唯一の被爆国である日本。核兵器廃絶に向けた取り組みは積極的に推進していくべき。

町長としての考えは、核兵器禁止条約は核兵器を保有使用しないということを法的に宣言したことになる。核兵器不拡散条約のさらに上をいくものだ。しかし北朝鮮のように核兵器の使用をほのめかず相手に対しては、日米同盟の下で核兵器を有するアメリカの抑止力を維持することが必要との政府の考え。自分自身し

答 みやき町には4医療機関があり、保健センターで一年を通じて



佐賀市の休日夜間こども診療所

現在のコミュニティバスを運行している方、免許証返納者支援申請されている方などからアンケート調査を行い、関係

現在コミュニティバスを運行している方、免許証返納者支援申請されている方などからアンケート調査を行い、関係

現在コミュニティバスを運行している方、免許証返納者支援申請されている方などからアンケート調査を行い、関係

町長としての考えは、核兵器禁止条約は核兵器を保有使用しないということを法的に宣言したことになる。核兵器不拡散条約のさらに上をいくものだ。しかし北朝鮮のように核兵器の使用をほのめかず相手に対しては、日米同盟の下で核兵器を有するアメリカの抑止力を維持することが必要との政府の考え。自分自身し



岡 広明 議員



問

健康で介護不要な高齢者に奨励金を

ど一体的な開発が必要である。

答

協議をし前向きに検討したい

問 JR九州等に対する陳情を含めたプロジェクト班の立ち上げを。

(40歳以上の方)は。

答 ①2474人。

②660人。

問 介護保険料は40歳以上の方から負担することに定められている。介護保険事業は地域皆さまの支え合いの仕組みで運営され、医療、介護サービス等の需要が増加すると言われている。町としては住民の「地区健康教室」等をさらに図り、住民の健康維持や介護予防対策につなげると共に介護認定を受けていない75歳以上の町民に年間5千円〜1万円の「いきいき祝金」奨励金の創設をし、健康に対する

答 第1号、第2号被保険者合計は1万6622人。

答 介護給付が鳥栖管内で月7億円くらい支出している。この祝金が励みになり減ることになれば検討する。今後、内部で協議をして常任委員会、全協にお諮りし事業化の方を前向きに検討して参りたい。

問 介護認定を受けていない方で

①75〜84歳の方は

②85歳以上の方は。

JR中原駅バリアフリー化と西踏切の町道路網整備は

問 駅はみやき町の顔であり、町の玄関口でもある。跨線橋の老朽化、高齢者や車いすおよびベビーカーの利用者からはエレベーターの設置などの要望がある。中原校区には特別支援学校や福祉施設が多い。バリアフリー化の整備を。

答 駅を利用しやすくするには、エレベーターの設置、ホームの拡幅、上屋の拡張、跨線橋など多くの課題がある。利便性の向上に向けて努力していく。

答 大変心強く感じている。駅とまちづくりを一体化した整備計画が必要となり、町でできることから取り組んでいく。

問 通学路である西踏切を含めた道路整備および元農業倉庫跡地の有効利用は。

答 3本の町道が集まって朝夕は通行量が多く危険な道路と認識している。農業倉庫跡地の有効利用等含めて道路整備な



東寒水地区百歳体操



危険通学路の中原駅西踏切

田植え

令和3年度の「田植え」が終了しました。

「豊穡の秋」を共に祈りましょう。作付概況は、左表の通りです。(10年前と比較)

	2021年度	2011年度
水田面積 (ha)	1,854	1,897
作付面積 (ha)	1,030	1,202
転作率 (%)	44	36.7
予想収量 (t)	5,541	6,522
反収 (kg)	538/10a	543/10a
作付面積内訳 (2021年度)		
さがびより	401ha	39%
ひのひかり	381ha	37%
その他	248ha	24%



コロナワクチン接種

65歳以上の方への予防接種は7月中には希望者全員の接種完了予定です。

今後のスケジュールは左表の通り。

	令和3年7月	令和3年8月
基礎疾患がある方	接種券が届き次第、予約可能	予約開始日や接種場所等については接種券に同封する案内文でご確認下さい。
60歳～64歳	7月20日(火) 予約開始	
50歳～59歳	7月上旬より順次接種券発送	7月27日(火) 予約開始
40歳～49歳		8月3日(火) 予約開始
19歳～39歳		8月17日(火) 予約開始
12歳～18歳	接種券は順次発送予定です。接種会場等、詳細が決定次第追ってお知らせします。	

問い合わせ先
健康増進課
(新型コロナワクチン対策室)
TEL0942-50-5122
FAX0942-89-3935

～議会を傍聴しませんか～

令和3年 第3回みやき町議会定例会(9月)会期の予定

9月7日(火)～16日(木)

一般質問 9月9日(木)、10日(金)、13日(月)

本会議の開会は午前9時30分です。

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。

最新の日程はみやき町ホームページまたは議会事務局(94-5728)でご確認ください。



編集後記

新型コロナウイルスの感染抑止が見通せないまま、東京オリンピック(7月23日～8月8日)・パラリンピック(8月24日～9月5日)の開催が近まっています。

平和の祭典の無事開催と世界に広がったウイルスの感染拡大防止という2つの大問題の解決を求められています。平和国家・日本と科学技術立国・日本の総合力が問われています。(A・M)



◎広報編集委員会

委員長 松信 彰文
副委員長 目野さとみ
委員 園田 邦広
委員 古賀 通
委員 中尾 純子